

新しい会食の形

6月25日に令和2年度の白寿・米寿・喜寿のお祝いが高原町内の温泉施設で行なわれました。高原町では白寿・米寿・喜寿の人生の節目を迎えられた皆さんをお招きし、長寿を祝い、これまでのご苦勞に感謝する機会として毎年開催しています。今回も久しぶりの再会を喜ぶ声が会場のあちこちで聞こえ、これまでのお祝いと変わらない同窓会のような雰囲気となりました。

しかし、今回のお祝いがこれまでと大きく変わっていることがあります。それは、新しい生活様式を取り入れながら新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながらの開催となったことです。緊急事態宣言が全面解除され、私たちの日常生活は平常に戻りつつあります。そこで国が示した新しい生活様式は、これから私たちがコロナウイルスと付き合いながら社会経済活動を継続していくための指針となります。宮崎県では、「新しい生活様式」を踏まえ独自に次のような会食時の留意点を示しています。

会食時のエチケット五箇条(利用者編)

県民の皆様が飲食店等で会食される際の留意点

第一条 手洗いの徹底

第二条 会話は小声

第三条 マスクの取扱に注意

第四条 身体的距離の確保

第五条 共有を避ける(お酌・お猪口・グラスの回し飲み、大皿を避ける)

今回のお祝いは、新型コロナウイルス感染症が発生してから初めての町が主催する大きな行事となりました。役場の担当職員は事前の準備を入念に行い、会場となった施設にもテーブルの配置などに協力していただきました。出席者の皆さんにはマスク着用、手指の消毒の外に「会食時のエチケット五箇条(利用者編)」への協力もお願いし、これまでになかったまったく新しい形の会食となりました。出席された皆さんにとっては、席を立ってお酌をしたり、顔を突き合わせて話をしたりすることもできず戸惑いもあったことと思いますし、物足りなさがあったかも知れません。それでも皆さんには快く協力していただき感染防止に対する意識の高さを感じることができました。町が主催する行事をこれから随時開催していくこととなりますが、今回の経験を生かしていければと考えています。

私たちの周りでは、ソーシャルディスタンスを守り、密を避けながらの日常が定着していくことになると思いますが、お互いの心と心はこれからも距離をあけず密のままです。